

## マスタークラス募集要項

**応募資格**：13歳以上の音楽学生、演奏家。国籍不問。

**指導内容**：原則として12日間。各受講生は期間中5回の個人レッスン(1回約1時間)を受講。伴奏、通訳付き。受講生はどのクラスも聴講自由。

**費用**：入学金:15,000円

### ★リピーター割引あり

2年連続で受講される場合は入学金を5000円割引、前回受講時から5年以内\*に再度受講される場合は入学金を3000円割引いたします。割引金額の合算はできません。

\*2018年～2021年に受講された方を対象とします。

授業料：150,000円

特別講座(オーケストラスタディ・初見)：15,000円(各回)

特別講座(室内楽)：1名につき60,000円(全4回)

**応募締切**：2022年12月15日(木) 必着

**合格発表**：2023年1月中旬頃に郵送にて本人に通知

**会場**：アンスティチュ・フランセ関西-京都 他

**練習場所**：期間中、希望者に斡旋(要予約)

**宿泊施設**：希望者には合格後、予約申込書をお送りします。

**受講申込**：

■ 下記のオンライン受講申込フォームに必要事項を記入し、送信してください。

<https://forms.gle/ogSWYUBnTumTDL6>

※ 公式サイトでは受講申込書のダウンロードも可能です。受講申込書による応募を希望する場合は必要事項を記入の上、郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■ 審査用の資料は下記の方法で提出してください。

● 演奏動画(必須)：過去1年以内に収録した15分以内の演奏動画。曲目自由(ただし声楽クラス希望の場合、フランス語のアリアまたは歌曲1曲と、自由曲1曲)。Youtube等の動画投稿サイトに動画をアップロードし、共有URLを受講申込フォーム内に記入してください。動画が再生できることをご自身で必ず確認してください。動画は限定公開可。DVD等の物理メディアの提出は受け付けません。

● その他の資料(任意)：推薦状やプレス記事、コンサートちらしなど(A4サイズに収めること)。郵送またはメールで事務局宛にお送りください。

■ 申込時点で18歳未満の場合は、保護者の氏名、住所、捺印、同行の有無を明記した書面(書式は自由)の原本を事務局宛に郵送してください。

※ 提出された添付資料はお返ししません。

※ 室内楽のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。グループの代表者が必要な資料を添えてお申し込みください。

[お申込はこちらから](#)



# 第32回 京都フランス 音楽アカデミー 受講生募集

## ACADÉMIE DE MUSIQUE FRANÇAISE DE KYOTO

フランスの一流演奏家たちが京都に集結する、特別なマスタークラス！

現地さながらの環境で、本物のフランス音楽教育を体験してみませんか。

# 2023年3月21日(火) - 4月2日(日)

※ 4月1日(土)は教授陣によるコンサートのため休講

**応募締切** | 2022年12月15日(木) ※必着

主催：京都フランス音楽アカデミー実行委員会

後援：京都市、在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、在京都フランス総領事館

助成：笹川日仏財団

協賛：稲畑産業株式会社、パウエル・フルート・ジャパン、  
株式会社 ビュッフェ・クラボン・ジャパン、株式会社 Liuteria-TAKADA、  
株式会社 旭堂楽器店

協力：京都女子大学、ANAクラウンプラザホテル京都、ヴィラ九条山

教育提携：パリ・エコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院

### お問合せ・お申込先：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

**Tel. 075-761-2114** (日・月・祝休) | **Fax. 075-761-2169** | Mail. [academie@institutfrancais.jp](mailto:academie@institutfrancais.jp)

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西-京都内

名誉会長：フィリップ・セトン(駐日フランス大使)

実行委員長：ジュール・イルマン(在京都フランス総領事、アンスティチュ・フランセ関西館長)

アドバイザー：森 悠子(長岡京室内アンサンブル音楽監督)

※ 今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況等により、このパンフレットの記載内容は予告なく変更される場合があります。最新情報は、公式サイト([academie.institutfrancais.jp](http://academie.institutfrancais.jp))をご確認ください。

お問合せ：京都フランス音楽アカデミー実行委員会事務局

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町8 アンスティチュ・フランセ関西-京都内

Tel. 075-761-2114 Fax. 075-761-2169 [academie@institutfrancais.jp](mailto:academie@institutfrancais.jp) [academie.institutfrancais.jp](http://academie.institutfrancais.jp)

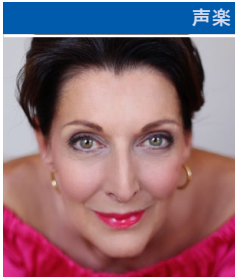




## マスタークラス 募集人数 | 各クラス12名

京都フランス音楽アカデミーは、ヴァイオリニスト森悠子氏と当時の関西日仏学館（現アンスティチュ・フランセ関西）館長ミッシェル・ワッセルマン氏の主導により、1989年に発足した日仏音楽交流事業です。1990年3月に第1回京都フランス音楽アカデミーが開催されて以来、毎春、フランスよりトップクラスの音楽家が来日し、フランス政府公式機関であるアンスティチュ・フランセ関西内で約2週間のマスタークラスを開講。その規模、歴史、水準の高さから、フランス国外で行われる最も重要なフランス音楽教育の場となっています。

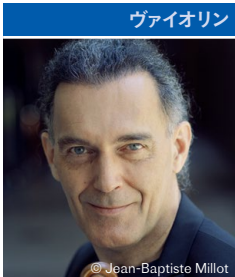
## 招聘教授プロフィール



**マリー＝テレーズ・ケレール**  
Marie-Thérèse Keller  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授



**クレール・デゼール**  
Claire Désert  
パリ国立高等音楽院教授



**オリヴィエ・シャルリエ**  
Olivier Charlier  
パリ国立高等音楽院教授



**ブルーノ・バスキエ**  
Bruno Pasquier  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

メゾソプラノ。ストラスブル地方音楽院卒業後、ハンス・ホッターとドゥニーズ・デュプレクスに師事し、パリ・オペラ座等での公演に出演。ラヴェル「スペインの時」コンセプション、「カルメン」タイトルロール、「ウェルテル」シャルロット、ナタリー・デセイと共演した「ランメルモールのルチア」、アリーサや「ラクメ」、マリカ、「美しきエレナ」、「ミニョン」、「カルメル会修道女の対話」マリー、「フィガロの結婚」ケルビーノとマルチェリーナ、「ペレアスとメリザンド」ジュヌヴィエーヴ等で高い評価を得る。近年の出演作はブッチーニ「ジャンニ・スキッキ」、「修道女アンジェリカ」、ベルク「ルル」、アラン・ロンバル、マレク・ヤノフスキら著名指揮者との共演や、多数のリサイタル出演の他、ヴェルディ「レクイエム」、ロッシーニ「小莊厳ミサ曲」等のオラトリオやマラー「大地の歌」にも出演。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ラン国立オペラでは「声楽家の身体訓練」とフランス語ディクションの指導も行う。

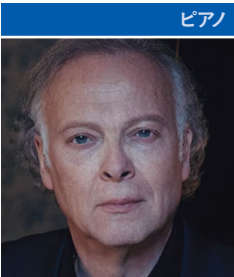
ラ・ロック・ダンテロン等の有名音楽祭に常連として出演する他、国際的な舞台に多数出演。ソリストとしては、パリ管弦楽団等の主要オーケストラや、マレク・ヤノフスキらの指揮者と共演している。14歳でパリ国立高等音楽院に入学。ピアノをヴェンティスラフ・ヤンコフに、室内楽をジャン・ユボの下で学び、両科目で1等賞を獲得。同音楽院修士課程では室内楽をロラン・ビドゥーに師事。エフゲニー・マリニンに見出され、モスクワ音楽院にも留学した。実力派室内楽奏者として知られ、エマニュエル・シュトロッセ、アンヌ・ガスティネルらと定期的に共演している。充実したディスコグラフィの中では、シューマンのノヴェレツを収録したアルバムがレパルトワール誌で10点を得た他、97年にドボルザークとスクリャービンの協奏曲の録音でヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック賞受賞。シューマンを収めた新作ではテレマ誌「fff」とクラシカ誌「Choc」受賞。現在、パリ国立高等音楽院教授。

第一線で活躍する演奏家の中でも際立った存在感を放つヴァイオリニスト。14歳でパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得した後、ミュンヘン、モントリオール、シベリウス、ロン＝ティボー等の国際コンクールで次々に受賞を重ねる。国内外のオーケストラとの共演多数。レコーディングでは、デュティユー、ラロ、サン＝サーンス、メンデルスゾーン、モーツァルト、ヴィヴァルディから、エドワード・グレグソン、ジェラルド・シュルマン等まで、幅広いレパートリーの協奏曲を取り上げている。ラ・ロック・ダンテロン、ブラード・カザルス、ラ・フォル・ジュルネ等の音楽祭への出演からも明らかのように、室内楽も重視しており、ジャン・ユボやブリジット・エングラーとの共演でCDをリリースしている他、エマニュエル・シュトロッセとヤン・ソンウォンとのトリオ・オウオンとしても録音多数。自身の師であるドゥカンの後を継ぎ、92年よりパリ国立高等音楽院教授。19年、22年の仙台など、多くの国際コンクールで審査員も務める。

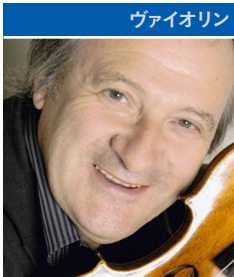
43年生まれ。61年にパリ国立高等音楽院で1等賞を獲得。65年ミュンヘンのARD国際音楽コンクール弦楽四重奏部門で優勝。65年～85年、パリ・オペラ座管弦楽団の首席ヴィオラ奏者。85年～90年、フランス国立管弦楽団の首席ヴィオラ奏者。豊かで美しく力強い音色によって、世界で最も才能あるヴィオラ奏者のひとりと評されている。ヴァイオリンのレジス・バスキエ（弟）とチェロのロラン・ビドゥーとともに弦楽三重奏団を結成。レコード録音では、76年にディスク大賞、77年にフランス・ディスク・アカデミー大賞など多数の賞を受賞。様々な制作にも携わり、08年、ラジオ・フランスにて映画「青いパイパイの香り」や「夏至」の音楽を担当したトン＝ツァ・ティエのヴィオラ・コンチェルトを演奏。数々の国際アカデミーでも教えており、72年よりパリ国立高等音楽院にて教鞭をとる。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、芸術文化勲章オフィシエ章受章。14年よりパリ・エコール・ノルマル音楽院教授。



**エマニュエル・シュトロッセ**  
Emmanuel Strosser  
パリ国立高等音楽院教授



**エリック・ベルシヨ**  
Erik Berchot  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授



**レジス・バスキエ**  
Régis Pasquier  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授



**アンリ・ドゥマルケット**  
Henri Demarquette  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

同世代の中でも注目のピアニストとして、有名音楽祭や国際的な舞台でリサイタルを行う他、ソリストとして主要オーケストラと共演。室内楽も重視しており、クレール・デゼールとピアノ・デュオを組む他、オリヴィエ・シャルリエ、ヤン・ソンウォンと結成したトリオ・オウオンのメンバーでもある。ストラスブル出身。エレヌ・ボスキに師事した後、パリ国立高等音楽院でジャン＝クロード・ベズティエ（ピアノ）とクリスチャン・イヴァルディ（室内楽）に師事。満場一致で両科の1等賞を得た後、レオン・フライシャー、ドミトリー・パシキーロフ、マリア・ジョアン・ピレシュの下でも研鑽を積む。フィレンツェ国際室内楽コンクール入賞、91年クララ・ハスキル国際ピアノ・コンクールファイナリスト。現在、パリ国立高等音楽院教授。最近では、シュベルトとシャブリエの作品を収録したソロアルバムをMirareよりリリース。デゼールとの共演では、同レーベルの「L'enfance」（13年）等で高い評価を得ている。

パリ国立高等音楽院でピアノをイヴォンヌ・ロリオに、室内楽をモーリス・クリュに師事し、それぞれ1等賞獲得。また、ジョルジ・シェベック、レオン・フライシャーらの教えも受けた。ロン＝ティボー国際コンクールやショパン国際コンクールなど、有名コンクールでの入賞多数。ソリストとしてフランス国立ロワール管弦楽団（ピエール・デルヴォー指揮）など多くの楽団と共演するほか、室内楽ではイヴリー・ギトリスらと共演。オリヴィエ・メシアンのアニバーサリーコンサートでは、作曲家自らの依頼で「異国の鳥たち」などを演奏。自身も作曲家として活動する一方、映画監督クロード・ルルーシュにはピアニスト兼俳優としても起用されるなど、マルチな才能を発揮。02年～07年、日本公演を行う。07年より歌手シャルル・アズナヴールのリサイタルにピアニストとして参加。09年、国家功労勲章シュヴァリエ受章。18年～19年、アズナヴールのシャンソンをもとにしたピアノ組曲を作曲。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。

幼少時より音楽に触れた早熟の才能は、12歳にしてパリ国立高等音楽院でヴァイオリンと室内楽の1等賞を受賞。14歳で渡米し、アイザック・スターン、ダヴィット・オイストラフ、ピエール・フルニエ、ナディア・ブーランジェと出会う。数年後、ジノ・フランチェスカッティがその才能に惚れ込み、共にパッハの「2つのヴァイオリンのための協奏曲」を録音。各国の有名オーケストラにソリストとして招かれ、ロリン・マーズell、ジョルジュ・ブレートルら指揮者と共演し、不動の評価を得る。室内楽では、アイザック・スターン、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチらと共演。91年ヴィクトワール・ドゥ・ラ・ミュージック年間優秀ソリスト賞および、ヌーヴェル・アカデミー・デュ・ディスク特別賞受賞。若手育成にも力を注ぎ、85年～11年、パリ国立高等音楽院教授。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院教授。ステファン・グラッペリの招きで複数のジャズコンサートに出演するなど、ジャズ愛好家でもある。

13歳でパリ国立高等音楽院に入学し、フィリップ・ミュレールとモーリス・ジャンドロンに師事。満場一致で1等賞を得た後、ピエール・フルニエ、ポール・トルトゥリエ、ヤンシュ・シュタルケルの下でも学ぶ。17歳でシャトレ座でのリサイタルを行い、ユーディ・メニューインにその才能を見出される。以降、フランス国立管弦楽団はじめ国内外の有名オーケストラや、ボリス・ベリョフスキら多数の演奏家と共演し、国際的に演奏活動を行う。15年からはオーギュスタン・デュメイらと結成した弦楽カルテットに参加。創造性に富んだ音楽家として、アコーディオン奏者リシャル・ガリアーノとのデュオや、自ら立ち上げたチェロとアカペラコーラスによるアンサンブル「Vocello」でも活躍。17年、ミシェル・ルグラン作曲のチェロ協奏曲を初演。現代音楽にも定期的に取り組み、これまでにアンリ・デュティユー、オリヴィエ・グレフ等、多くの作曲家の作品を演奏している。使用楽器は1700年製「Goffredo Cappa」。

## フランス音楽留学 スカラシップ（奨学制度）優秀受講生より3名

## パリ・エコール・ノルマル音楽院 スカラシップ ～著名な音楽家が名をつらねる、伝統校への留学～

2004年より、京都フランス音楽アカデミーはパリ・エコール・ノルマル音楽院と教育提携しています。アカデミーの優秀生にはパリ・エコール・ノルマル音楽院への留学の道が開かれています。スカラシップ対象者は、秋から1年間の授業に参加するための入学金と授業料が免除されます。  
※入学手続きは同音楽院の規定に従って行っていただきます。別途諸費用はご自身での負担となります。



**フローラン・エオー**  
Florent Héau  
パリ地方音楽院教授

優れたフランス流派クラリネット奏者の1人として、輝かしい伝統を世界中に伝えるべく演奏活動および教育活動を行っている。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのもとで学び、数々の国際的なコンクールで第1位を獲得。室内楽にはとりわけ精力的に取り組み、ルノー・カピュソン、ジェラルム・コセ、アンリ・ドゥマルケット、アンヌ・ガスティネル、ミシェル・ペロフラと共演するほか、ソリストとしては、ヨーロッパアン・カメラータ、パリ室内管弦楽団、ブルターニュ管弦楽団、ポーランド放送室内合奏団、ブラハ室内管弦楽団等と共演。また、ティエリー・エスケシュやフィリップ・エルサンら現代音楽の作品も初演している。パリ国立高等音楽院でミシェル・アリニョンのアシスタント教授を務めた後、リュエイユ＝マルメゾン地方音楽院教授を経て、現在はパリ地方音楽院およびローザンヌ高等音楽院教授として後進の指導を行う。ヨーロッパ各国やラテンアメリカ、アジアのマスタークラスにも定期的に招聘されている。



**ディアナ・リゲティ**  
Diana Ligeti  
パリ国立高等音楽院教授

チェロ奏者・指導者として、国際的に多彩な活動を展開し、著名な演奏家とも共演多数。アンサンブルでは「トリオ・ジョルジュ・サンド」や「カリオペ」に参加する他、「オーブン・チェンバー・オーケストラ」のソロ・チェロ奏者を務める。これまでに Arion、Polymnies、Leman classics、日本室内楽振興財団等からリリースしたCDが批評家から称賛を得ている。ミュンヘンのARD国際音楽コンクールファイナリスト、ドゥエ国際チェロコンクール優勝などの受賞歴に加え、「トリオ・リゲティ」として参加した大阪国際室内楽コンクールでは第1位に輝く。現在、パリ国立高等音楽院、リュエイユ＝マルメゾン地方音楽院教授。ヨーロッパアン・チェンバー・ミュージック・アカデミーと京都フランス音楽アカデミーの教授陣にも加わる。04年以来、フォンテーヌブロー・アメリカ音楽院で教鞭をとる。18年には、100年の歴史を持つ同音楽院で、女性としてはナディア・ブーランジェ以来初めてアーティストック・ディレクターに就任した。

## 声楽・ピアノ・弦楽器・管楽器クラス

レッスンはすべてマンツーマンで行われます。課題曲は設けず、各受講生の希望する曲を指導。各受講生は、期間中5回の個人レッスン（1回約1時間）を受講します。個人レッスン以外の時間帯には、他の受講生のレッスンや、他の科目のレッスンも自由に聴講していただけます。日本にいながらにして、まるでフランスの音楽院で学んでいるかのような環境を体験できる、またとない機会です。都合の悪い日に個人レッスンが当たらないよう、ある程度の調整は可能ですが、期間中はなるべく毎日出席することをおすすめします。

※**特別聴講制度** 受講生以外の方にもアカデミーのレッスンをご覧いただけるよう、特別聴講制度を設けます。聴講料：7,000円（1日）。未就学児不可。詳細はアカデミー事務局までお問い合わせください。

## 特別講座：オーケストラスタディ / 初見 / 室内楽 3月28日(火)～3月31日(金) (全4日間)

パリ国立高等音楽院のディアナ・リゲティ教授を迎え、フランスの音楽教育ならではの特長を生かした3つの特別講座を開講します。

- **オーケストラスタディ**：オーケストラのオーディション対策に特化したレッスンを開講。弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。楽器ごとに日程が異なります。ヴァイオリンは2日間の受講も可。  
3月28日(火)、3月31日(金)：ヴァイオリン / 3月29日(水)：ヴィオラ / 3月30日(木)：チェロ
- **初見**：フランスの音楽教育において特に重視されている「初見」を実践的に学ぶ講座。フランスへの音楽留学を考えている方には特に受講をおすすめします。ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生対象。各日1回90分。1人何回でも受講可。
- **室内楽**：ピアノ・弦楽器クラスのアカデミー受講生を対象に、デュオ、トリオ、カルテットのメンバーを事前に募集します。グループでの応募も可。グループで応募する場合は、アカデミー受講生以外の方がメンバーとして参加することも可能です。ただし、その場合も各参加者には受講費用（入学金・授業料）をお支払いいただく必要があります。各日1回1時間。グループごとに全4回のレッスンを行います。

※特別講座は原則としてアカデミーのマスタークラス各科目の受講生を対象としますが、特別講座のみの受講を希望される場合、事前に音源審査を受けていただきます。詳細はお問い合わせください。また、室内楽のみの受講は、グループでの応募に限り可能です。個人での応募はできません。※受講希望者数が一定の人数に満たない場合、開講を中止することがあります。※日程や回数、内容が一部変更される場合があります。

## 現代音楽特別公開講座 3月29日(水)～3月31日(金) (全3日間)

フランスの現代音楽シーンの中でも随一の実力派として活躍する作曲家エリック・タンギーによる、特別公開講座を開催します。講座最終日には、事前に募集するアカデミー受講生がタンギー教授の作品を実演するワークショップ形式の講義を行います。（1回2時間、最終日のみ3時間予定）。  
聴講料：3,000円（1回につき）、7,000円（全3回） ※ 受講生は無料で聴講可能。事前申込不要。

長期フランス音楽留学のチャンスに挑戦してみませんか。



**ジャン・フェランディス**  
Jean Ferrandis  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

モーツァルトのフルート協奏曲K314を演奏した際、アダージョを聞いたバースタインに「彼はまさにパン（牧神）である!」と言わしめるほど称賛を得たフルーティスト。リヨン国立高等音楽院を卒業後、ブラハの春国際音楽コンクールで優勝。以後、カーネギーホールやシャンゼリゼ劇場など、各国の有名ホールでリサイタルや室内楽の公演を行う他、ソリストとしてオーケストラと共演。多くの音楽祭にも招かれ、ジャン＝フィリップ・コラール、アンリ・ドゥマルケット、イヴリー・ギトリス、ジャン＝マルク・ルイサダらと共演している。録音ではあらゆるフルートのレパートリーを取り上げ、22年にはモーツァルトのフルート四重奏曲全集を発売予定。世界初演となったアレクサンドル・デスブラの「ペレアスとメリザンド」等、現代の作曲家の作品を演奏することも多い。現在、パリ・エコール・ノルマル音楽院とカリフォルニア州立大学フラトン校で教鞭をとる。ヨーロッパ、日本、韓国、アメリカでは定期的にマスタークラスでの指導も行う。



**エリック・タンギー**  
Éric Tanguy  
パリ・エコール・ノルマル音楽院教授

68年生まれ。同世代の中でも最も多く作品が演奏されているフランス人作曲家の1人。ホラチウ・ラドゥレスクの下で学んだ後、パリ国立高等音楽院ではイヴォ・マレク、ジェラルム・グリゼー、ベッツィ・ジョラスに師事。アメリカのタングルウッド音楽センターではアンリ・デュティユーから特別招待される。01年、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチが「チェロ協奏曲第2番」を初演。続いてボストンとニューヨーク・カーネギーホールでも同作品を演奏（小澤征爾指揮）。02年よりパリ市立ポール・デュカ音楽院教授、17年よりパリ・エコール・ノルマル音楽院教授。これまでに独奏曲から交響曲まで約100作品を作曲しており、ニコラ・アングレリッシュやアンヌ・ガスティネル等の多数のソリストの他、国内外のアンサンブルやオーケストラがその作品をレパートリーに加えている。指導者としても高く評価され、カリフォルニア大学ロサンゼルス校等、世界中でマスタークラスやレクチャーを行っている。交響曲を収めた最新アルバムはONDINEレーベルより発売。

